

そして うたおう

NO. 230 2024年12月2日発行

<練習予定>

12月..... 2日 9日 16日 23日

※2日の練習場所は中央公民館です。

1月..... 6日 13日(中原先生) 20日 27日(櫻井先生)

※13日の練習場所は勤労会館です。

2月..... 3日 10日 17日 24日(今井先生)

※17日の練習場所は中央公民館です。

<練習曲> 『今日もひとつ』 星野富弘 作詩 なかにしあかね 作曲
『島よ』 伊藤海彦 作詞 大中恩 作曲
『コダーイ混声合唱曲集より』 ゾルタン・コダーイ 作曲
『思い出の曲』 2001~2024

<練習日・時間> 月曜日 18時30分~21時00分

★18時15分~20時45分(櫻井先生)

<練習場所> 崇善公民館 中央公民館

<練習欠席等の連絡> 男性:鈴木 090・8452・5037

女性:梅林 090・4822・7882

HP



今後の主な予定

早いもので今年も最後の月となりました。これから寒さも厳しくなるか思います。健康には十分気をつけてください。今後の練習以外の主な予定です。

3月2日(日) 崇善公民館まつり参加 午前予定

曲 『今日もひとつ』より「秋のあじさい」 『出発の歌』

3月7日(金) 市民合唱祭事前練習 夜間予定

3月9日(日) 第52回ひらつか市民合唱祭

曲 『今日もひとつ』より「秋のあじさい」 『出発の歌』

4月7日(月) 令和7年度総会 練習後予定

6月7日(土) 第72回湘南合唱祭 ひらしん平塚文化芸術ホールにて

原稿をお寄せください

合唱や音楽に関係する原稿をお寄せください。お待ちしております。今回は飯

塚さんが寄稿してくださいました。ありがとうございます。

また、「～シリーズ～

合唱と私」がほぼ一巡しましたので、新たなシリーズを考えます。その際にご協力をお願いいたします。

ベルリン RIAS 室内合唱団 演奏会

飯塚 光宏

先月、28日(木) 県立音楽堂でベルリン RIAS 室内合唱団の演奏会があった。RIAS と言えば、ウィーンのシェーンベルク 20 世紀合唱団と並び、世界最高峰の合唱団として有名である。6 年前とかにやはり、来日した。この時は合唱の夕べはなかった。記憶が定かではないが、読響と共演し鈴木雅明の指揮でメンデルスゾーンの「賛歌」と他に無伴奏の宗教曲をやったはずだが、私の期待が大きかったために余り満足しなかったのを覚えている。

県立音楽堂からのチラシで、この演奏会があるのを知って、一も二もなく私は出かけることにした。迂闊にもプログラム内容も余り確認せず、とにかく RIAS を聞きたい一心で出かけた。行ってみたら、「JS バッハとバッハ一族のモテット」と副題が付いていた。私の大好きなバッハのモテット、しかもとりわけ好きな「イエス・マイネ・フロイデ」がメインプロだった。バッハ家の流れを辿り、その時々々のモテットを歌って、バッハに至るといふ贅沢な一夜だった。

対位法の面白さを堪能した。2 群の合唱の交唱、3 声、4 声、との対比、様々な対位法の技法を駆使してのモテットを時代を追って聞くのは楽しかった。プログラムの最後に演奏されたバッハのモテット第 3 番「Jesu, meine Freude: 主よわが喜び」が集中力も高く、一番よかった。当夜の演奏は、流石 RIAS というものだった。各声部は、明瞭でバランスよく響き、芯のある充実した音を聞いた。聞いているうちにドイツの何処かの教会にいるような錯覚に襲われた。ポジティブオルガンの音、低音を支えるチェロが一本、柔らかなオルガンに乗せて歌われる純正調の響き、これぞ合唱だ。また、ドイツ音楽の底流をコラールが流れているのだという認識も新たにした。バッハは偉大だが、大変な努力家でもある。モテット第 3 番を聞きながらそんなことを考えていた。

演奏会のご案内 ※順次掲載していきます。

☆KAZUMI スペシャルライブ 12月7日(土) 11:00～ 13:00～

ラスカホール

☆クリスマスコンサート～心があつたかくなるコンサート♪～ 12月24日(火) 19時開演

※sound of LaLa (ゲスト出演)

小田原三の丸 小ホール

☆Happiness Key Concert 1月26日(日) 13時30分開演

茅ヶ崎市文化会館 大ホール

☆川崎混声合唱団 第57回定期演奏会 1月26日(日) 14時開演 今井先生

川崎市多摩市民会館 大ホール

☆LAB concert 2月15日(土) 13時30分開演 中村先生

横浜みなとみらいホール 小ホール